

令和3年度 普及指導活動外部評価委員会（書面開催）
「評価委員からの意見」及び「次年度の活動について」

島根県農林水産部農業経営課

課題名	評価項目				次年度の普及活動の改善について
	課題設定と活動計画	普及指導活動の体制・方法	普及指導活動の成果	その他	
斐川玉ねぎの生産振興(出雲農業部)	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■産地の置かれた生産条件の変化とニーズを的確に捉えた計画・目標であると高く評価できます。産地・市場のニーズも大きく、関係機関との調整も周到に行われていると考える。 ■県基本計画と合致し、かつてのタマネギの産地が減少した要因に対し、課題解決できる環境になった現状を踏まえている。 ■地域の担い手実態から営農組織を普及対象とするのは、成果の波及性が高い。 ■関係機関が一体となった取り組み体制が伺える。 ■斐川地域の特性を活かした品目選定、課題設定である点。 ■現状と実績を踏まえた取り組みであると思う。 ■現在、島根の農業に求められる分野に取り組みで、生産拡大と集落営農間連携の可能性を上げた。 	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■収支モデル、能率調査、現地へのフィードバックが適切に行われていると高く評価できる。 ■令和4年産の定植が終了した後の農閑期に、令和5年産に向け機械導入までを想定し、新たな生産者、へ生産面積拡大に向けた推進活動は、時期、内容とも適切と思われる。 ■関係機関が一体となった取り組み体制、組織的取り組みが伺える。 ■現地実演における能率調査などをもとに、詳細な機械化体系ごとの労働時間の積み上げは、説明資料としての精度が高い。 ■補助事業を活用し、JAによる機械買い出し制度を作るなど役割分担ができている。 ■現状把握から実践に至るまで、JAと密に連携できている点 ■関係機関との連携が感じられる。 ■JAとの良好な関係性が良い。 	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■産地の置かれた生産条件の変化とニーズを的確に捉えた上での高い成果が得られていると高く評価できます。収支モデルの作成や能率調査など、現地へのフィードバックも適切に行われている点も特筆される。 ■共同育苗の試作と技術支援、成果としての育苗技術資料は活動が分かりやすい。 ■拠点産地づくりに向かって機械導入の合意形成ができたことは、大きな意識変化。 ■機械化体系で組み立てた経営モデルの実現ができれば、地域への波及効果が大きい。 ■具体的な収支モデルを作成し、機械化のメリットをわかりやすく提示したことにより、作付け推進につながっている点。 	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■生産者や関係機関との密なコミュニケーションにより、各種のフィードバックを通じた資質向上の機会が創出されていると高く評価できる。 ■機械化体系導入の実現に向けた現地実演から詳細な経営モデルを組み立て、新規営農組織に品目導入を導いた一連の普及活動は、担当した普及員の資質向上につながる。 ■地域全体での生産振興に向けて、JAと協力して着実に取り組んだ点。 	<p>○関係機関との役割分担や達成水準について、より明確になるよう検討する</p> <p>○機械化体系による生産・経営面への効果を検証しながら、生産の拡大に取り組む</p>

	<p>【改善が必要な点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■・機械化による生産振興は比較的数値目標を設定しやすい課題だと思うので、より具体的な数値目標を設定してもよいのではないか。 ■明快な目標設定がされていないのが残念。 <p>【自由意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■産地面積の目標30ヘクタールの背景、目標年次がほしい。 ■更に実効性、現実味のあるものにしてもらいたい。 	<p>【改善が必要な点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■活動の概要資料に成果目標が明確に示されていない。 ■「楽に儲かる」という方向性のうち、「楽に」の部分は機械化により達成が見込まれるが、「儲かる」の部分への道筋(規模拡大、経営改善等)がより明確になるとよいと思う。 ■ごく自然な流れの普及活動で、もっと貪欲な取り組みの拡がりがあれば良いと思う。 <p>【自由意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■関係機関との具体的な役割分担を更に明確にしてもらいたい。 	<p>【改善が必要な点】</p> <p>【自由意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■生産者や関係機関とのさらなる連携のもと、さらなる生産技術の向上と省力化の実現を通じた生産拡大をおおいに期待する。 ■30ヘクタールの育苗をどうするかのが構想が欲しかった。 ■機械体系導入の取組は始まったばかりであり、今後の成果の分析を期待する。 ■玉ねぎは一年中使う野菜の一つですから、常備されている家庭も多いと思います。高齢の生産者でも継続可能で、また新たな担い手が増えることを期待する。 	<p>【改善が必要な点】</p> <p>【自由意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■育苗マニュアルの精緻化などを通じて、さらなる資質向上の機会につながることをおおいに期待する。また、ネットワーク強化など、ソフト面での資質向上の機会となることが期待される。 ■これからも、現実性、実効性のある普及指導活動をお願いします。普及指導側の所感を頂けると、今後に生かせるのではと感じる。 ■資料が秀逸。 	
--	---	--	--	--	--

課題名	評価項目				次年度の普及活動の改善について
	課題設定と活動計画	普及指導活動の体制・方法	普及指導活動の成果	その他	
高畝栽培を核としたアスパラガス産地の育成(大田農業部)	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■先駆的な取り組み(高畝栽培)の導入と、技術確立・共同選果への周到な支援をもとに、収量・生産性の高い目標も掲げられており、高く評価できる。 ■県基本計画と合致し、生産組合が策定した産地ビジョンの達成を支援している。 ■産地ビジョンを持つ組織を普及対象としている。 ■関係機関が一体となった取り組み体制が伺える。 ■産地ビジョン達成に向け明確な活動目標が設定されている。 ■産地育成に向け、明確な数値目標を設定している点。 ■本県の目標に沿った内容で、地域全体の取り組みとしていること。 ■目標達成のため、必要とすることが明確になっている。 ■地域の希望であるアスパラガスの生産拡大に貢献した。 	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■プロジェクトチームを立ち上げ、栽培から共同選果、サポーター制度に至るまでの多岐にわたる活動を実現している点で、高く評価できる。 ■指導活動のテーマに対して、活動過程、推進体制とも効果・効率的に取り組まれている。 ■推進体制内の役割分担ができていることが速やかな活動の進展につながっていると感じる。 ■市及びJAと密に連携している点。 ■技術確立やハード支援だけでなく、新規就農者のサポート体制というソフト面からの支援も行っている点。 ■サポーター制度は現実性、実効性が高いと感じられる。 ■地域での指導者(師匠)が明確に位置付けられている。 ■実経験のある生産者を師匠に起用したことが素晴らしいと思う。 	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■先駆的な取り組み(高畝栽培)の導入と周到な技術確立支援をもとに、目標収量とともに高い生産性も実現していることに加えて、新たな担い手の確保と生産拡大にも繋がっている点で、高く評価できる。経済性調査や共同選果場の整備、サポーター制度の確立支援など、フィードバックも適切かつ多岐にわたって行われている点も特筆される。 ■指導活動のテーマごとに目標に向かって着実に活動がなされ、成果を上げている。 ■想定を上回る生産者組合、担い手の意識変化が短期間でビジョン目標の達成を導いている。 ■今後の活動に向けての課題が示すように高い波及効果が見込まれる。 ■高畝栽培の技術が確立した点。管内の約8割が導入していることから、産地の結束力が高まったことも見受けられる。 ■サポーター制度の確立により、産地全体で担い手を育成していく体制づくり及び雰囲気づくりができてきている点。 	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■生産者や関係機関との密なコミュニケーションにより、各種のフィードバックを通じた資質向上の機会が創出されていると高く評価できる。 ■生産組合のビジョンづくり誘導、ビジョン実践へと進められた普及活動の経験は普及員の資質向上につながる。 ■技術確立だけでなく、新規就農者のサポート制度確立も支援している点。このノウハウを他の地域でも生かしてほしい。 	<p>○達成水準について、より明確な数値目標の設定を検討する</p> <p>○新規就農者の経営安定に向けて、スマート農業(環境モニタリング)の導入等、支援内容の充実に努める</p>

	<p>【改善が必要な点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■アスパラガスを選定した理由の説明があるとよかった。 ■目標をもっと細やかに設定した方が、得られるものが明快。 <p>【自由意見】</p>	<p>【改善が必要な点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■師匠制度以外は、ごく当たり前の支援で物足りなさを感じた。 <p>【自由意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■連携体制のさらなる高度化・発展が大いに期待できる。 ■更に、関係機関役割の明確化と分担を充実して頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ■計画に対し具体的な成果が見えている。 ■先駆的な高畝生産を支援し、高所得に結び、普及させて産地拡大に貢献した。 <p>【改善が必要な点】</p> <p>【自由意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■販路の確保と高付加価値化を通じたさらなる産地発展をおおいに期待する。 ■今後担い手を地域外に求めるが、生活が可能所得が得られる経営モデルの例示が欲しかった。 ■一定の成果が見えているが、その間での新たな障害弊害も知りたい。 ■アスパラガスは鮮やかな彩りで特別な味わいがあり、食卓をワンランク上げてくれる野菜である。高畝栽培は生産者に優しい取り組みだと思う。鮮度が大切な野菜ですから、県内の消費者に届くことを望む。 	<p>【改善が必要な点】</p> <p>【自由意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■様々な主体とのネットワークの拡充などを通じて、さらなる資質向上の機会創出を期待する。 ■急速な産地拡大が進むが、急速ゆえに現地での担い手個別の課題が発生すると思われ、担当者だけでなく普及の組織的支援活動を願う。 ■更に現実性、実効性のある普及指導活動をお願いする。 ■課題に対する創意工夫を期待する。 	
--	---	--	---	---	--

課題名	評価項目				次年度の普及活動の改善について
	課題設定と活動計画	普及指導活動の体制・方法	普及指導活動の成果	その他	
しまねの担い手「集落営農」の推進と育成～地域とともに考える普及活動の展開を目指して～(益田農業部)	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■長年の懸案である集落営農の組織化、法人化の推進に向けて、的確なロードマップのもと、関係機関との綿密な連携のもと、具体的な目標が設定されていると高く評価できる。 ■県基本計画と合致し、担い手不在集落解消の取り組みと連動した対応は重要。 ■研修会や個別相談会で問題意識のある集落を対象としている。 ■関係機関が一体となった取り組み体制ができ、対象の動きに関する情報共有を重視している。 ■中山間地域において持続的な組織づくりは必須である。難しい目標であるが、地域全体や後継者世代を巻き込む計画が評価できる。 ■本県の重要課題と思わる部分で、知恵を絞りながらの取り組みを感じる。 ■今、一番、島根県内に必要な普及活動に取り組まれたこと。 	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■合意形成に向けたさまざまなアプローチによる支援が組織的にとられており、高く評価できる。 ■指導対象の動向、意識の変化を考慮した効果・効率的な活動ができています。 ■関係機関が一体となった取り組み体制ができ、チームで情報を共有化し進められている。 ■市町やJA等、関係機関との連携が密にできている点。 ■後継者を含めた多様な関係者間の合意形成に向け、個別相談会やアンケートなど、段階に応じた効果的な支援を行っている点。 ■関係機関との調整や役割分担も円滑にされているように感じる。 ■合意形成の手法は、現状に沿ったもので、とても感心した。 ■きっかけ作りが効果的で、粘り強く話し合わせ、成果に繋がれた。 	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■長年の懸案である集落営農の組織化、法人化の推進に対して、ステップアップ方式による合意形成のフォーマット作りとフォローアップ体制の整備、個別相談会・集落アンケートの実施とフィードバック、研修会の盛会の実現など、きめ細かな活動を展開しており、気運の高まりにもつながっている点で、高く評価できる。 ■普及活動の成果、対象の意識の変化、大きな波及効果の期待ができる。 ■近隣の担い手による農地保全が自らの耕作による農地保全へと意識が変化したアプローチは高く評価できる。 ■集落の営農維持について、問題意識を持ち、話し合いを始めた15組織を掘り起した波及効果は大。 ■当事者に意識の変化が見られたことが大きな成果である。 ■本ケースは幸い法人化に至ったが、たとえ法人化に至らなくても、多世代での話し合いが促進されることは評価に値する。 	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■集落関係者、関係機関とのコミュニケーションと連携が密で、フィードバックも適切に行われていると高く評価できる。 ■集落の営農継続に向けて法人化を誘導する過程を体験することは普及員の資質向上への効果は大きい。 ■後継者世代を含めた多様な関係者間の調整業務は容易ではなかったものと思われる。ここで得たノウハウを他の地域でも活かしてほしい。 	<p>○アンケート結果を活用し、対象者リストの作成を行い、集落の課題の整理等を進めていく</p> <p>○集落の維持・存続に向けて、対象者リストにより具体的な活動成果目標を落とし込み、よりスピード感を持って活動を進めていく</p>

	<p>【改善が必要な点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■スピード感を持った法人化の推進が目標であるが、具体的成果目標が資料には示されていない。 ■細やかな目標を立てられると、もっと効果的かと思う。 <p>【自由意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■担い手不在集落实態を分析し、誘導すべき集落の実態、集落数などが整理されていると良かった。 	<p>【改善が必要な点】</p> <p></p> <p>【自由意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■連携体制のさらなる高度化・発展と、他地域への拡充を期待する。 ■後継者世代の巻き込みはとても重要で、更に手本になるような手法を構築して頂きたい。 ■本取り組みを全県下に波及頂くよう、県庁より号令掛けをお願いする。 	<ul style="list-style-type: none"> ■地道な活動で成果が出てくるものなので、前進していることを評価できる。 <p>【改善が必要な点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■具体的達成目標が示されておらず、今回の活動成果が目標に足るものか判断できない。 ■後継者世代へのアンケートやその結果のフィードバックがどのような影響を及ぼしたかを分析すると、他の事例でも活かせるのではないか。 <p>【自由意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■今後とも、息の長い伴走を期待する。 ■法人化の合意形成に至ったA地区のターニングポイント（その時）を、アンケート集計結果などで変化する状況を聞きたかった。 ■法人化はゴールではない。持続的な組織にするには、所得確保等の次のステップが必須であり、継続した支援を期待する。 ■発表の部分で、弊害となって表れている部分を挙げて頂くと今後に生かせるのではと感じた。 ■集落アンケートは世代間で話し合う効果的なサポートだと思う。 	<p>【改善が必要な点】</p> <p></p> <p>【自由意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■集落関係者との密なコミュニケーションを通じて、さらなる資質向上の機会創出を期待する。 ■アンケートによって現場の具体的な思いが把握でき、意欲的に普及活動ができることが大切と感じた。 	
--	---	--	--	---	--

課題名	評価項目				次年度の普及活動の改善について
	課題設定と活動計画	普及指導活動の体制・方法	普及指導活動の成果	その他	
美味しまねゴールド【団体認証】取得支援 (技術普及部)	【評価できる点】 ■美味しまねゴールドの認証取得は喫緊の課題である一方、生産者単独での取り組みに限りがある中、タイプの異なる2生産組織にターゲットを絞り、関係機関との連携のもと、明確な支援体制とロードマップを作成している点で、高く評価できる。 ■県基本計画と合致し、美味しまねゴールドの取得を目指す2つの団体を普及対象として、ロードマップに沿った計画活動は評価できる。 ■関係機関が一体となった取り組み体制ができ、チーム活動が展開されている。 ■認証取得への誘導という成果目標は、活動が分かりやすい。 ■GAPの実践はこれからの農業には不可欠であり、団体認証取得に向けて地域の生産者全体の支援を行うことは、適切な課題設定である。 ■野菜の団体認証ということで、構成員が多いなかでうまく指導されていると感じる。	【評価できる点】 ■関係機関との連携による綿密なロードマップ作成のもと、個別指導を含めたきめ細かな支援活動が実施されている点で高く評価できる。 ■ロードマップを早期に作成し、計画的活動で効果・効率的活動が行われた。 ■チーム活動が果たした役割の重要性が感じられた。 ■対象の素地、準備段階を把握し、異なる誘導の手法で行った工夫が評価できる。 ■それぞれの団体の特徴に応じて効果的な支援を行った点。	【評価できる点】 ■産地単独では取得が困難である美味しまねゴールドの2生産組織の取得に向け、各生産組織の特性に合わせたロードマップとマニュアルを作成して説明会も実施しており、意識向上にも繋がっている点で、高く評価できる。 ■目標達成に至る経過が伺えた。 ■GAP認証取得に対する対象の意識をアンケートで分析できていることは、次のステップアップに活かせる。 ■地域の他組織について認証取得の動きをリサーチできており、今後の波及効果が期待出来る。 ■団体認証取得という成果もさることながら、構成員に意識の変化が見られたことが大きな成果だと思う。 ■他品目での認証取得の動きや他の生産部会における上位認証への移行に向けた動きがあるということは、GAPのメリットが構成員に伝わったと評価できる。	【評価できる点】 ■生産者、関係機関とのコミュニケーションと連携が密で、説明会等のフィードバックも適切に行われていると高く評価できる。 ■明確な普及課題に対して、年度当初にロードマップを作成して計画的に進める手法は、普及員の資質向上に役立つ。 ■指導する準備段階が異なる2組織に対し、対象に合わせ手法を変える工夫で、多様な経験ができたと推察する。 ■モチベーションの異なる構成員全員に対し、団体認証取得に向けて支援を行うことは、苦労も多かったものと思われる。ここで得たノウハウを他の事例でも活かしてほしい。	○GAP導入による経営改善への効果を検証し、生産者や関係機関と情報共有しながら、産地の自走化や他品目への波及に取り組んでいく ○団体認証は事務局となるJAの取り組みが重要となってくることから、このノウハウをJAと共有し、GAPを活用した産地づくりの支援を行う。

	<p>【改善が必要な点】 ■大事な取り組みだが、成果に繋げる対象が少ない。</p> <p>【自由意見】 ■個々の農家では環境が様々と思われるが、今後更に個別農家が押さえるポイントを把握され、円滑な推進に取り組んで頂きたい。</p>	<p>【改善が必要な点】 ■市町等との連携があると、地域全体の機運も高まり、より広域に波及するのではないか。</p> <p>【自由意見】 ■個別のケースに応じた、より多様かつ柔軟な支援体制の構築を期待する。 ■関係機関とチーム編成をされていると思いますが、それぞれの機関の具体的な役割分担が明確になると解りやすいのではと感じた。</p>	<p>【改善が必要な点】</p> <p>【自由意見】 ■産地が自走していけるための早急な体制整備と、取得支援活動の拡充を期待する。 ■対象の意識の変化に関し、取り組みの負担について大きな負担になっていないとまとめたのはそのとおりであるが、アスパラガス生産組合の13%の負担を感じると答えた意見のフォローを期待する。 ■13%の組合員がより負担とならない手法を、柔軟な発想で検討、改善してほしい。 ■認証取得がゴールではない。GAPの取組が継続するよう、定期的なフォローアップ等の支援を期待する。 ■普及活動中に多少の障害などがあったかと思いますが、そこをどのような工夫でクリアされてきたかが、もう少し具体的に見えると今後に生かせるのではと感じた。</p>	<p>【改善が必要な点】</p> <p>【自由意見】 ■指導・推進側の所感などを聞かせて頂けると今後の参考になる。</p>	
--	---	--	---	---	--